

良質な介護サービスの提供をめざして。

頼りとなる“かかりつけ医”として十三年。

ひだまりの家協力医の藤兼Dr.に聞く

ふじかね医院 院長 藤兼 正明 氏



報じられた「輪西の赤ひげ」の由来とは

ふじかね医院は先代先生が昭和50年（1975）現在の地に開業されたと聞いておりますが、先生が就かれたのはいつからですか。

藤兼 大学を卒業したのが昭和60年（1985）で、その後那須の「塩原温泉病院」、茨城の「水戸国立病院」などで勤務医をして、その後大学病院（独立医科大学）に戻り学生の指導、臨床研究を行ってまいりました。

それが故郷の室蘭に戻られたというのは、藤兼 先代の医院長、父が体調を崩し、平成11年（1999）室蘭に帰り医院

を継ぎました。先生は3年前、北海道新聞で人口減少問題を特集した際、「輪西の赤ひげ」と称され、そこで独り暮らしの高齢者のお宅に往診に行かれていた様子が紹介されましたが、その辺のお話しをお聞かせください。

協力医として知り尽くしている入居者、職員

ひだまりの家の協力医としてはや十三年となり、何かあると昼夜問わず施設まで往診に来ていただいておりますが、ひだまりの家にはどのような印象をお持ちですか。

藤兼 お付き合いさせていただいてはや十三年になりますかね。前におられたケアマネージャーの今井瞳さんには当初、逆にこちらの方が介護保険などいろいろ教えていただきましたよ。訪問のたびに思いますが、職員スタッフの介護力は高く、誤嚥性肺炎や脱水症など高齢者にとって命取りになりかねない、病状を的確に把握・対応されているのには感心します。

高い評価をいただき嬉しい限りです。他に何か

たものではありませんが、治療だけでなく、食事内容や誤嚥・誤飲の注意・予防なども配慮してあります。中には引きこもり気味の方も多くいて、一日一回外の空気を吸うなど促しています。

お誕生日おめでとう



昨年に続き越後光代さんのご長女藤田良子さんがキーボード演奏で楽しくクリスマスソングを披露してくれました。演奏会の後はそれぞれユニットでクリスマスケーキを食しました。



「母がお世話になつてこのへらひのことしかお返しできませんが…」とイベントを快く引き受けてくださいました。



サンタの帽子をかぶってシキヤシこの夜に聞き惚れ口ずさむみなさん。

お誕生日おめでとう



S. H. さん
12月27日(97歳)
ひだまりの家の最高齢、姪御の大竹尚子さん参加で嬉しそう。



T. S. さん
1月19日(84歳)
ご長男（一人息子）の勝美さんが参加され、テレビと嬉しさが入り交じって…。



輪西駅前にあるふじかね医院の全景

シリーズ⑩ 職員スタッフ紹介

パート職
中嶋 久代

平成27年11月入社
(勤続4年3ヶ月)



完成した「お昼」の一品、温かいうちに配膳担当へ

♥いつも仕事で心掛けていることは
食事は皆さん楽しい時間、より楽しみが増すように見た目の“彩り”、“盛り付け”に気を付けています。

♥ひだまりの家のアピールを
誕生会など一年を通しての多彩な行事スタッフの結束力、チームワークの良さです。

♥これまで印象深い思い出は
ここへ来て初めて食事を提供した時、入居者様から「どれもこれも私の好きな味付け、本当においしいよ！」と言っていたこと

♥自分の長所・短所は
(長所) ポジティブに捉えよくよしない
(短所) マイペース、それと早とちりかな？

♥好きなこと・趣味は
温泉巡り パークゴルフ

♥好きな有名人はだれですか
小田 和正(オフコース)
() サヨナラ、サヨナラ、サヨナラ〜、もうすぐ外は…)

♥血液型は B型 ♥占星座は てんびん座

♥その他
仕事は丁寧に楽しく、信頼されるよう努めています。

第4回 運営推進会議報告

12月2日(月) 14:00

参加者
(ご家族) 米田 知明様(2階ユニット森田富子様)
(地域) 沼田 貞子様(地区民生委員)
(包括支援センター) 戸ノ崎和樹様
(ひだまりの家)
代表 加藤 栄吉
介護福祉士 内城 昌人

議案
・近時の運営活動報告・感染予防対策
・地域連携・身体拘束廃止など